

# タケシールAQ層間プライマーA

- 特徴**
- 既設塗膜（ウレタン防水・水性防水材）との優れた密着力を発揮します。
  - 1液型のため機械攪拌が不要です。
  - 塗装用具のお手入れも簡単です。

**用途** 既設ウレタン防水材（改修）及び水性防水材への水性保護材及び水性防水材塗り重ね用下塗り

**荷姿** 15kg缶 ・ 4kgポリ容器 ・ 1kgポリ容器

**標準塗布量** 0.1kg/m<sup>2</sup>

**塗布可能面積（目安）**

15kg缶：150m<sup>2</sup>  
 4kg缶：40m<sup>2</sup>  
 1kg缶：10m<sup>2</sup>



## 乾燥時間

温度（℃）	10	20	30
時間（h）	2～3	1～2	0.5～1

使用時の気象条件にて変わります。目安時間としてください。

## 上塗り適用性

タケシールAQ層間プライマーAの上に	
塗ることができる商品	塗ることができない商品
○タケシールAQ防水Type S	× タケシール1液NEOプラス
○タケトップ	× タケシール#101カラー防水
○タケトップ遮熱	× タケシール#3500トップ
○Pトップ	
○タケシールAQトップ	
○タケシールSSトップ	

## 注意事項

### 取扱い上の注意

- ・既存防水層に破損がある場合は、事前に適切な方法で補修を行ってください。
- ・下地に残る、脆く浮いた旧塗膜がある場合は取り除いてください。
- ・下地塗膜の表面はハジキ易くなっている場合があります。中性洗剤を使用しデッキブラシなどで洗浄します。
- ・入隅などに塗布する場合、液溜まりができないように十分注意してください。
- ・下地温度及び気温が5℃以下、湿度85%以上となる場合は、施工を避けてください。
- ・施工中、施工後5時間以内に降雨、降雪が予測される場合は、施工しないでください。
- ・取扱いの際は、保護マスク・保護眼鏡・保護手袋など適切な保護具を着用してください。
- ・内容物がこぼれた場合には、乾いた布で拭き取り汚染した布は産業廃棄物として処理してください。
- ・空缶及び残塗料、汚れたウエス・手袋等を処分する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- ・保管は、屋内の通気の良い場所で容器を密閉して凍結、直射日光を避け保管してください。
- ・取扱い後は、手洗い・うがいを十分に行ってください。

### 応急措置

- ・眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗いコンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けてください。目に刺激が続く場合は、医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合は、速やかに洗剤と水で手洗い落とし、痛みや外観に変化がある場合は、医師の診断を受けてください。
- ・蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所に移し、呼吸しやすい体制で休息させ、気分が悪い場合は、医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- ・他、商品の安全な取り扱いについて詳しくは、安全データシート（SDS）を参照ください。

## 品竹林化学工業株式会社

〒577-0836

大阪府東大阪市渋川町3丁目1-43

TEL：06-6721-6165（代）

URL：https://www.takebayashi-ci.com/

E-mail：info@takebayashi-ci.com